

D X 計 画 2 0 2 4

2024年03月制定




第一建設株式会社


私たちは、世界を取り巻く環境の変化に対応しながら、お客様や社会に価値を提供することを目指しています。また、建設技能者の高齢化・労働力不足など『2024年問題』の解決に向けて、様々な解決アクションが求められる中、デジタル技術を活用し持続可能な発展を目指しています。

私たちの経営理念は『一步先行く第一建設』です。これは、常に先を見て、革新的な取り組みを行っていくという意志を表しています。

BIM（Building Information Modeling）やドローンによる工事管理など、積極的にデジタル技術を取り入れながら、多くのステークホルダーの皆様とコミュニケーションを取り、共に成長していきたいと考えています。私たちは、地域の建設プロフェッショナル集団のリーダーとしての役割を果たすために、全力で取り組んでまいります。

代表取締役社長 俣野 隆

VISION  デジタル技術を活用し、建設業界の課題を解決しながら、イノベーションの推進と社会に貢献することを目指します。

APPROACH  業務プロセスを効率化し、労働力確保と品質向上を図ることが重要です。具体的には、BIMやAIなどの先進技術を導入し、設計から施工、メンテナンスまでの各段階でデジタル化・情報共有を促進することで、プロジェクトの透明性を高め、リスク管理を強化します。

DXの戦略

デジタルツールの導入・活用

工事進捗などのリアルタイム把握

蓄積データのデジタル化・分析・活用

組織

- DX推進体制の構築
- BIM推進室の構築

人材

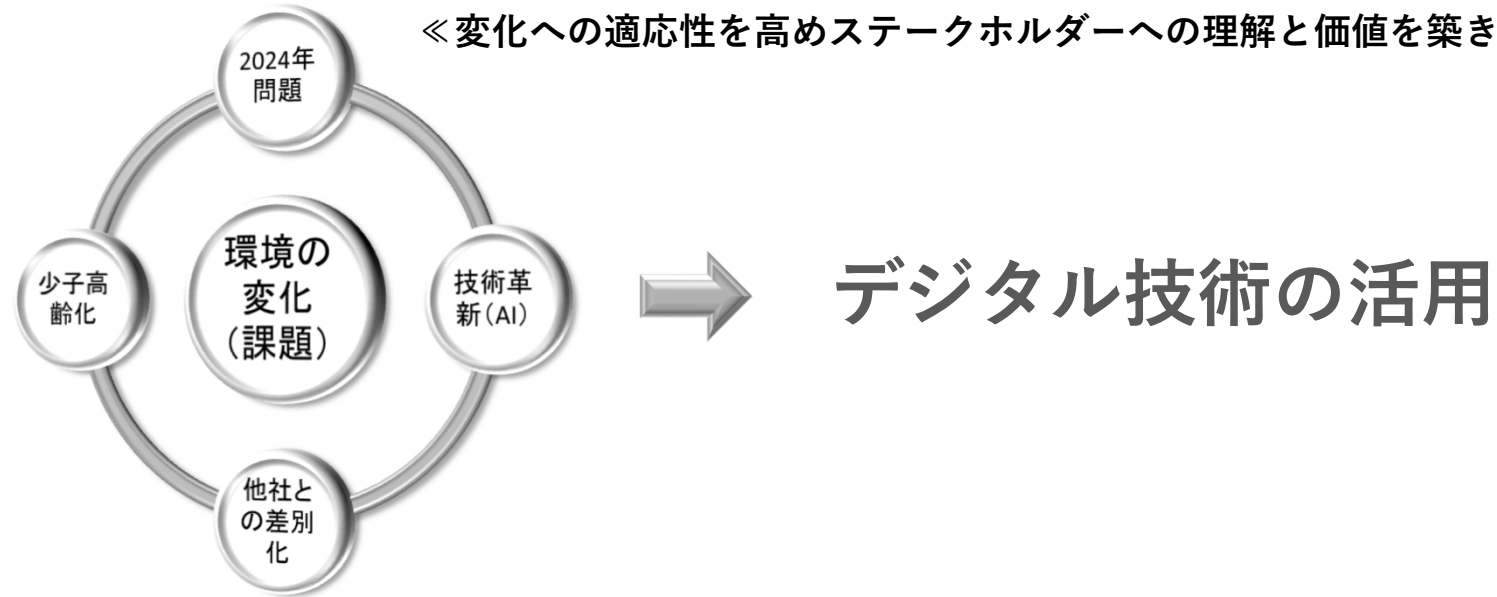
- デジタル関連知識・技術の習得
- デジタル関連技術者の招へい

IT環境

- BIMツール
- AIツール
- ドローン等のデジタル技術活用
- 蓄積データのデジタル化・分析・活用



第一建設株式会社は『一步先行く第一建設』を経営理念に掲げ、デジタル技術を活用し、建設業界の課題を解決しながら、イノベーションの推進と社会に貢献することを目指します。



デジタル技術を活用し、建設業界の課題を解決しながら、イノベーションの推進と社会に貢献することを実現



業務プロセスを効率化し、労働力確保と品質向上を図ることが重要です。具体的には、BIMやAIなどの先進技術を導入し、設計から施工、メンテナンスまでの各段階でデジタル化・情報共有を促進することで、プロジェクトの透明性を高め、リスク管理を強化します。

《業務プロセス》

- ①業務のデジタル化とAIの活用により効率の良い環境を構築します。
- ②データの分析により市場の傾向や会社の状況を把握し提供価値の向上や社内の改善につなげます。

《建設プロセス》

- ①BIMやドローンを導入・活用することにより、可視化・情報の共有が可能になりステークホルダーへの価値を高めて満足度及び効率化向上につなげます。
- ②新しい領域をチャレンジすることにより、社員の成長につながる職場環境を提供することで、社員の満足度向上につなげます。



デジタルツールの導入・活用

- ・ BIMの導入により、設計・施工状況の一元管理を行い、3Dモデルをコミュニケーションツールとして活用し多くのステークホルダーの満足度を高めます。
- ・ ドローンの導入により、高所から写真撮影を行い、一般的なカメラと差別化した情報を活用することで正確な情報発信や伝達をおこない、業務時間の短縮や安全・品質管理に役立てます。

工事進捗などのリアルタイム把握

- ・ BIMでは3Dモデルと合わせて情報（Information）を活用し、施主や専門工事会社との工事変更対応などをリアルタイムで行うと共に、進捗管理などにも適用し工事管理項目全ての精度を高めることに繋がります。
- ・ ドローンでは各作業所で定期的に定点撮影を行うことにより、着手前から完成までの推移を見える化し、進捗状況を共有し関係者とのコミュニケーションツールとして活用します。

蓄積データのデジタル化・分析・活用

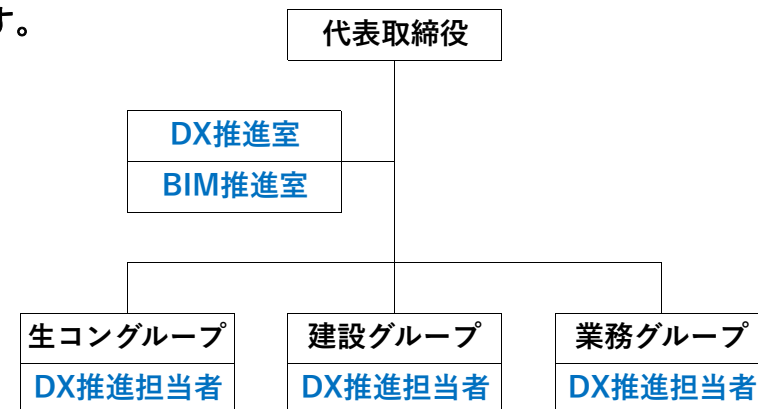
- ・ 過去の施工実績データの情報分析をLCM（Life Cycle Management）に活用し、顧客や建物別に適切なメンテナンスサービスを提案することによる顧客満足度の向上に繋がります。



DX推進体制を整備し、技術開発の充実や新しい事に挑戦する事に対し、人・組織に継続的に投資し、若手人材や専門人材からみて魅力ある会社づくりを目指します。

DX推進体制の構築

- 代表取締役直轄の【DX推進室】を新設し組織を横断し戦略を推進します。
- 各部門からDX推進担当者を選抜し実行体制を構築します。



デジタル関連知識・技術の習得

- BIM・ドローンなどのデジタル技術活用や習得に向けた研修・勉強会を定期的に行います。
- デジタル技術を効率的に習得し、実務で生かすことができるよう習得のサポートを行います。



DX推進体制に必要なIT環境を整備していきます。

システムインフラ・マニュアル等の整備

- 通信ネットワークを再整備し、各作業所からのアクセスなどストレスのない環境を実現します。
- 各々のデータ連携を容易に行えるよう連携基盤を整備します。
- 各ツールの利用浸透を図ると共に、情報セキュリティを確保するために運用ルールの整備を行います。

データ蓄積・分析環境の整備

- 今までの施工実績データを分析し、LCMやBIMに活用できるように必要な環境整備を行います。

戦略推進状況のモニタリング項目

戦 略	成 果 指 標
デジタルツールの導入・活用	工事量・質を考慮した残業時間の削減割合（前年比）
工事管理項目のリアルタイム把握	顧客満足度の向上（前年比）
蓄積データの分析・活用	顧客満足度の向上（前年比）